



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 マクセルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6810 URL <http://www.maxell.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 啓次
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略部長 (氏名) 高橋 誠司 (TEL) 03-5715-7061
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	63,640	△13.5	827	17.8	816	3.4	△844	—
2020年3月期第2四半期	73,599	4.2	702	△73.9	789	△78.3	817	△60.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 514百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △565百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△17.06	—
2020年3月期第2四半期	15.60	—

(注) 2020年3月期第1四半期より「業績連動型株式報酬制度」により信託を通じて当社の株式を取得しており、信託が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	183,826	88,024	46.5
2020年3月期	178,873	92,912	50.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 85,565百万円 2020年3月期 90,444百万円

(注) 2020年3月期第1四半期より「業績連動型株式報酬制度」により信託を通じて当社の株式を取得しており、信託が保有する当社株式は、四半期連結貸借対照表において自己株式として計上しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	250.00	18.00	—	0.00	268.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	133,000	△8.3	1,500	—	△3,400	△68.74

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2020年3月期第1四半期より「業績連動型株式報酬制度」により信託を通じて当社の株式を取得しており、信託が保有する当社株式を「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社(社名) マクセルシステムテック株式会社

(注)詳細は、添付資料9ページの「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページの「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	53,341,500株	2020年3月期	53,341,500株
2021年3月期2Q	3,882,166株	2020年3月期	3,882,966株
2021年3月期2Q	49,458,726株	2020年3月期2Q	52,360,837株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)1. 期末自己株式には、「業績連動型株式報酬制度」により信託が保有する当社株式(前連結会計年度19,400株、当第2四半期累計期間18,600株)を加算しております。

2. 期中平均株式数(四半期累計)は、自己名義所有株式分を控除する他、「業績連動型株式報酬制度」により信託が保有する当社株式(前第2四半期累計期間15,596株、当第2四半期累計期間19,207株)を控除して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅な異なる可能性があることをご承知置きください。上記予想の前提条件、その他関連する事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2020年10月29日に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催します。当日使用する決算説明会資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
< 補足資料 >	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済・社会活動の制限が継続し、個人消費や企業の生産活動などを中心に景気は引き続き低迷しました。当社においては、当第2四半期以降、東南アジア工場の操業を再開するなど、国内外で事業の正常化に向けた準備を整えています。全ての事業セグメントにおいて景気低迷による受注・販売の減少などの影響を受けました。

このような状況のもと当第2四半期連結累計期間の売上高は、半導体関連組込みシステムが増収となりましたが、自動車市場向け製品については、第1四半期から第2四半期にかけて市場の回復基調が見られたものの、塗布型セパレーター、耐熱コイン形リチウム電池、車載カメラ用レンズユニットやLEDヘッドランプレンズといった光学部品が減収となりました。また、粘着テープ、理美容機器などのコンシューマー製品、プロジェクターの減収も影響し、前年同期比13.5% (9,959百万円) 減 (以下の比較はこれに同じ) の63,640百万円となりました。利益面では、耐熱コイン形リチウム電池、塗布型セパレーター、自動車市場向け光学部品などが減益となりましたが、プロジェクターや健康・理美容機器の赤字幅縮減や固定費削減を中心とした原価低減策により、営業利益は、17.8% (125百万円) 増の827百万円となりました。また経常利益は、3.4% (27百万円) 増の816百万円、親会社株主に帰属する四半期純損益は、1,661百万円減の844百万円の損失となりました。当第2四半期連結累計期間における法人税等は、新規に連結納税対象となった連結子会社の税金費用の計上もあり増加となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上高で約10,700百万円、営業利益で約3,300百万円のマイナス影響が生じたと考えています。

当第2四半期連結累計期間の対米ドルの平均円レートは107円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(エネルギー)

民生用リチウムイオン電池は、新型コロナウイルス感染症の影響による在宅勤務やリモート授業の拡大に伴う通信機器向け需要増などに支えられ、前年並みの実績となりましたが、耐熱コイン形リチウム電池、スマートメーターを主用途とする筒形リチウム電池などが減収となったことにより、エネルギー全体の売上高は、13.5% (2,767百万円) 減の17,661百万円となりました。営業利益は、主に耐熱コイン形リチウム電池の減益により、31.7% (486百万円) 減の1,049百万円となりました。

(産業用部材料)

半導体市場の回復傾向により、半導体関連組込みシステムが増収となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自動車市場向け光学部品や塗布型セパレーター、粘着テープなどが減収となり、産業用部材料全体の売上高は、14.1% (3,851百万円) 減の23,399百万円となりました。営業利益は、半導体関連組込みシステムが増益となりましたが、自動車市場向け光学部品、塗布型セパレーターなどの減益が大きく、88.9% (264百万円) 減の33百万円となりました。

(電器・コンシューマー)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、健康関連製品の増収がありましたが、プロジェクター、理美容機器その他のコンシューマー製品が減収となり、電器・コンシューマー全体の売上高は、12.9% (3,341百万円) 減の22,580百万円となりました。営業損益は、プロジェクターや健康・理美容機器の収益性が固定費削減効果や新光源比率の向上により改善しましたが、新規開発費の影響もあり、875百万円増の255百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末比2.8%増(以下の比較はこれに同じ)の183,826百万円となりました。このうち流動資産は、主に受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金の増加により、2.8%増の87,063百万円となり、総資産に占める割合は前連結会計年度の47.3%から47.4%となりました。一方、固定資産は、2.7%増の96,763百万円で、総資産に占める割合は前連結会計年度の52.7%から52.6%となりました。

(負債)

負債は、11.4%増の95,802百万円となりました。このうち流動負債は、主に短期借入金の増加により13.2%増の45,675百万円となりました。これによって流動比率は1.9倍に、また流動資産との差額である手持ち資金は41,388百万円となりました。一方、固定負債は、主に長期借入金の増加により9.9%増の50,127百万円となりました。

(純資産)

純資産は、5.3%減の88,024百万円となりました。主にマクセルイズミ株式会社の株式を追加取得したことにより資本剰余金が5,335百万円減少したことによるものです。これにより自己資本比率は50.6%から46.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

グローバルの経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、当連結会計年度第3四半期以降もその影響が完全に払拭されるまでには時間を要すると予想しています。こうした状況のもと、当社業績への影響を合理的に見積もることが困難な状況となっておりますが、自動車、半導体、民生用電子機器といった主要市場の動向を注視するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた各国政府などの指針に沿った事業運営を継続しています。また、全社的な経費支出や投資の抑制を推進し当社業績への影響の最小化を図っています。

一方で、通期連結業績予想については、当第2四半期連結累計期間の業績に加え、将来の企業価値向上に向けた事業改革の一環として本日公表した「早期退職支援制度の実施に関するお知らせ」などに伴う影響も勘案し、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高は、133,000百万円（前回2020年5月13日発表との比較で7,000百万円減。以下の比較はこれに同じ）、営業利益は、1,500百万円（1,000百万円増）、親会社株主に帰属する当期純損益は、3,400百万円の損失（3,600百万円減）に修正を行いました。（セグメント別の売上高、営業利益の内訳については、4ページ「補足資料」をご覧ください。）

当社は、今後も新型コロナウイルス感染症への対応を継続するとともに、事業ポートフォリオ改革、収益面の課題がある事業への具体的対策、事業部門別ROIC管理や製品群別・機種別の収益管理による財務規律の徹底を力強く推進し、抜本的な事業改革を順次実行していきます。

<補足資料>

(業績概要)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2021年3月期 見通し	前年比 (%)
売上高	73,599	63,640	86.5	133,000	91.7
営業利益	702	827	117.8	1,500	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益	817	△844	—	△3,400	—

(セグメント別売上高・営業利益)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2021年3月期 見通し	前年比 (%)
売上高	73,599	63,640 (100.0)	86.5	133,000 (100.0)	91.7
エネルギー	20,428	17,661 (27.7)	86.5	36,000 (27.1)	94.2
産業用部材料	27,250	23,399 (36.8)	85.9	49,000 (36.8)	90.1
電器・コンシューマー	25,921	22,580 (35.5)	87.1	48,000 (36.1)	91.6
営業損益	702	827 (100.0)	117.8	1,500 (100.0)	—
エネルギー	1,535	1,049 (126.8)	68.3	2,300 (153.3)	92.1
産業用部材料	297	33 (4.0)	11.1	0 (0.0)	0.0
電器・コンシューマー	△1,130	△255 (—)	—	△800 (—)	—

(カッコ内は構成比、単位：%)

(地域別売上高)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)
海外売上高	28,703	22,741 (35.7)	79.2
米国	5,300	5,805 (9.1)	109.5
欧州	6,252	2,809 (4.4)	44.9
アジア他	17,151	14,127 (22.2)	82.4
国内売上高	44,896	40,899 (64.3)	91.1
売上高(合計)	73,599	63,640 (100.0)	86.5

(設備投資・減価償却費・研究開発費)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年 同期比 (%)	2021年3月期 見通し	前年比 (%)
設備投資	3,281	4,389	133.8	7,000	136.0
減価償却費	2,848	2,697	94.7	5,500	93.6
研究開発費	4,413	3,963	89.8	8,500	95.9

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,636	27,034
受取手形及び売掛金	30,328	28,012
たな卸資産	21,431	20,265
その他	10,778	12,288
貸倒引当金	△516	△536
流動資産合計	84,657	87,063
固定資産		
有形固定資産		
土地	35,500	35,340
その他(純額)	26,563	27,674
有形固定資産合計	62,063	63,014
無形固定資産		
のれん	1,228	934
その他	5,037	4,826
無形固定資産合計	6,265	5,760
投資その他の資産		
投資有価証券	21,626	22,399
その他	4,467	5,783
貸倒引当金	△205	△193
投資その他の資産合計	25,888	27,989
固定資産合計	94,216	96,763
資産合計	178,873	183,826
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,668	15,724
短期借入金	8,500	12,000
1年内返済予定の長期借入金	1,801	1,903
未払法人税等	508	1,082
その他	12,858	14,966
流動負債合計	40,335	45,675
固定負債		
長期借入金	33,777	38,801
役員退職慰労引当金	73	—
退職給付に係る負債	7,249	6,998
資産除去債務	75	75
その他	4,452	4,253
固定負債合計	45,626	50,127
負債合計	85,961	95,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,203	12,203
資本剰余金	33,625	28,290
利益剰余金	63,778	62,934
自己株式	△6,035	△6,034
株主資本合計	103,571	97,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,032	△132
為替換算調整勘定	△8,182	△8,184
退職給付に係る調整累計額	△3,913	△3,512
その他の包括利益累計額合計	△13,127	△11,828
非支配株主持分	2,468	2,459
純資産合計	92,912	88,024
負債純資産合計	178,873	183,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	73,599	63,640
売上原価	59,115	50,804
売上総利益	14,484	12,836
販売費及び一般管理費	13,782	12,009
営業利益	702	827
営業外収益		
受取利息	88	223
受取配当金	85	69
持分法による投資利益	123	—
為替差益	19	—
その他	136	250
営業外収益合計	451	542
営業外費用		
支払利息	38	51
売上割引	104	89
持分法による投資損失	—	65
為替差損	—	182
支払手数料	83	—
その他	139	166
営業外費用合計	364	553
経常利益	789	816
特別利益		
固定資産売却益	5	39
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	8	39
特別損失		
固定資産除売却損	69	70
減損損失	—	153
新型コロナウイルス感染症による損失	—	110
特別損失合計	69	333
税金等調整前四半期純利益	728	522
法人税等	345	1,316
過年度法人税等	△743	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,126	△794
非支配株主に帰属する四半期純利益	309	50
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	817	△844

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,126	△794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	901
為替換算調整勘定	△2,085	6
退職給付に係る調整額	387	401
その他の包括利益合計	△1,691	1,308
四半期包括利益	△565	514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△763	455
非支配株主に係る四半期包括利益	198	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であったマクセルシステムテック株式会社は当社の連結子会社であるマクセル情映テック株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月1日付で、連結子会社であるマクセルイズミ株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が5,335百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が28,290百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。